

一般社団法人 岩の力学連合会  
2019年度 第3回理事会 議事録

日時	起案 2020年3月19日	場所	乃木坂ビル 4F (資源・素材学会会議室)
----	---------------	----	-----------------------

理事会	理事	伊藤高敏	○	理事	西山竜朗	○	理事	芥川真一	×
	理事	坂口清敏	○	理事	藤井幸泰	S	理事	西山 哲	×
	理事	佐藤 晃	○	理事	土屋光弘	×	理事	岡田哲実	○
	理事	林 為人	S	理事	森岡宏之	×	理事	横尾 敦	○
	理事	下田直之	S	理事	砂金伸治	×	理事	上田日出男	×
	理事	木崎彰久	×	理事	安原英明	S			
	監事	細野高康	○	監事	早川博之	×	ISR M 役員	オメルアイ ダ ン	×
	賛助会員特 別会議 <sup>注1)</sup>	奥野哲夫	×	ILC 委員 会注 <sup>2)</sup>	京谷孝史	×			

注1) 正式名称：賛助会員特別会議・運営企画特別委員会

注2) 正式名称：ILC 研究企画特別委員会

敬称略順不同，○：出席，S：スカイプ参加，×：欠席

配 付 資 料

資料番号	資 料	頁
資料 2019 理事 03-01	第2回常任理事会 (1/31) 議事録	1
資料 2019 理事 03-02	会員の入退会	5
資料 2019 理事 03-03	2019年度事業報告 (案)	7
資料 2019 理事 03-04	2019年度収支決算 (案)	15
資料 2019 理事 03-05	2020年度事業計画 (案)	20
資料 2019 理事 03-06	2020年度収支予算 (案)	23
資料 2019 理事 03-07	岩の力学ニュース pdf化による経費削減について	26
資料 2019 理事 03-08	岩の力学ニュース電子化の問題点	28
資料 2019 理事 03-09	岩の力学連合会 規則変更案	30
資料 2019 理事 03-10	2019-2020_賛助会員特別会議_運営企画特別委員会名簿	39
資料 2019 理事 03-11	賛助会員特別会議 2019年度 活動報告と提言	41
資料 2019 理事 03-12	賛助会員特別会議運営特別委員会の常設化に向けて	73
資料 2019 理事 03-13	岩の力学連合会の資源素材学会事務局への事務委託内容の見直し案および委託業務料金の見直し案について (2020.01.31 開催, 第3回常任理事会資料より)	74
資料 2019 理事 03-14	会議開催の際のお金のやりとりに関する問題点	81
資料 2019 理事 03-15	理事会の効率化・経費削減策について	83
資料 2019 理事 03-16	第15回岩の力学国内シンポジウム準備状況報告	85

## 【審議および報告事項】

1. 第2回常任理事会（1/31開催）議事録の確認（資料2019理事03-01）  
議事録案通り承認された。
2. 会員の入退会確認（資料2019理事03-02）  
1/20までの入退会の確認がなされた。
3. 2019年度事業報告（案）の審議（資料2019理事03-03）  
社員総会の資料となる2019年度事業報告案について議論した。報告案に対して内容の変更・追加が必要とされるのは以下の通りであった。
  - ・「1. 事業内容 (5) 国際活動概要」に、2019年度開催された ISRM Congress での Counsel meeting 等の内容を追加することとした。
  - ・2019年5月に開催された Rock Dynamics Summit についても開催報告を追加することとした。
  - ・国際会議の名称については、最初に正式名称を示して以降は略称で統一することとした。
  - ・日付の表記方法を統一することとした。
  - ・句読点の表記を統一するように修正することとした。
  - ・ナショナルグループの表記は略称 (NG) ではなく National Group と表記することとした。
  - ・「2. 総会, 理事会, 常任理事会 (3) 常任理事会」の項目では、常任理事会についても開催日を記載することとした。
  - ・岩の力学連合会賞については、コロナウィルス感染拡大防止の影響で審査ができなかった。4月20日以降で再度審査を実施する予定であり、その後に連合会賞の内容について幹事長に報告されることとなった。
  - ・誤字, 脱字, 文字のフォントおよび大きさなどの軽微な修正については指摘された事項に従い修正することとした。
4. 2019年度収支決算（案）の審議（資料2019理事03-04）  
資料として示された増減計算書などの内容について確認を行い、了承された。
5. 2020年度事業計画（案）の審議（資料2019理事03-05）  
社員総会の資料となる2019年度事業計画案について議論した。計画案に対して内容の変更・追加が必要とされるのは以下の通りであった。
  - ・計画案の最初に、次年度の運営方針を明記することとなった。内容としては、これまで理事会でも議論されてきたように、本連合会の財政の健全化を目指す取り組みを進めていくことを明記することとなった。財政健全化の大きな柱としては、1) 賛助会員の獲得, 2) 各常設委員会の運営の効率化（旅費の圧縮）, 3) 「岩の力学ニュース」といった会員向け会報誌の電子化, 4) 理事会の効率化と回数の削減による旅費の圧縮, について今後取り組んでいくこととした。
  - ・後述の議題12. で示すように「賛助会員特別会議」は常設化されることとなった。そのため、事業計画の中でも「7. 常設委員会」の中に事業計画を記載することとなった。
  - ・誤字, 脱字, 文字のフォントおよび大きさなどの軽微な修正については指摘された事項に従い修正することとした。
6. 2020年度収支予算（案）の審議（資料2019理事03-06）  
資料として示された増減計算書などの内容について議論した。計画案に対して内容の変更・追加が必要とされるのは以下の通りであった。
  - ・1/31でも議論された資源・素材学会への事務委託費の変更に関して、基本的に満額増額するとして予算を編成することとなった。また、委託費の増額を含めた本連合会の対応内容については後述議題12. および13. で示すこととする。
  - ・決算が済んでいる「2019RDS 特別会計」および「YSRM2019 特別会計」については正味財産増

減計算書内訳書から削除することとした。

- ・現在開催準備に取りかかっている 火山に関するワークショップ (RMEGV2021, 2021 年 9 月開催予定) および第 15 回岩の力学国内シンポジウム (2021 年 1 月開催予定) の準備金として、それぞれ 50 万円を基金から当てることとした。RMEGV2021 については国際会議準備基金から、第 15 回岩の力学国内シンポジウムについては基金 (基本財産) から拠出することとした。また、額についても必要に応じて増額が可能であることが確認された。
- ・上記の準備金の拠出に伴い、正味財産増減計算書内訳書に「RMEGV2021 特別会計」および「国内シンポ特別会計」を追加することとなった。
- ・特別会計の正味財産増減計算書内訳書の記載方法については、この特別会計の中で決算が完結できるように記載方法を事務局と検討することとした。

#### 7. 岩の力学ニュース pdf 化による経費削減について (資料 2019 理事 03-07)

西山編集委員長より、「岩の力学ニュース」の pdf 化と経費削減効果について調査した結果が報告された。その結果、現在、冊子体での制作に年間 100 万円の予算が必要なところ、pdf のみの編集の場合には 65 万円程度に圧縮されることが分かった。また、50 部の冊子体制作の場合には 80 万円程度に圧縮できることが分かった。下記の議題 10 で報告された賛助会員からの提言でも、「岩の力学ニュース」の電子化が求められており、早急な実現が必要であることが確認された。一方、冊子体の全面廃止には会員サービスの観点から懸念する声も上げられているため、次年度については冊子体を制作すると同時に、pdf ファイル化した電子版を配信することとなった。

「岩の力学ニュース」電子版の配信にあたっては、Rock Net Japan のサーバーにデータを保管し、Rock Net Mail でアクセス先およびパスワードを配信することによって、会員が随時ダウンロードできる体制を取ることにした。

「岩の力学ニュース」に関する著作権に関する問題も指摘された。平成 28 年以降は本連合会に著作権が委譲されているが、それ以前のものについてはその手続きがなされておらず、基本的に著者に権利がある状態であることが分かった。したがって、過去の「岩の力学ニュース」の電子化については、まずは著作権が本連合会に委譲されている分のみを公開することとした。平成 28 年以前のもの取り扱いについては、法律上の問題を調査することとなった。

#### 8. 岩の力学ニュース電子化の問題点 (資料 2019 理事 03-08)

上記の議題 7. で示した「岩の力学ニュース」の電子化に関して、資料の通り本連合会の定款および規則の変更の必要がないことを確認した。

#### 9. 岩の力学連合会 規則変更案 (資料 2019 理事 03-09)

規則「第 13 条 (賛助会員の特典)」の項目に、現在は発行されていない「岩の力学」に関する項目があったため、資料の通り削除することとなった。

#### 10. 2019-2020\_賛助会員特別会議\_運営企画特別委員会名簿 (資料 2019 理事 03-10)

資料の通り、賛助会員特別会議 運営企画特別委員会名簿の変更を確認した。

#### 11. 賛助会員特別会議 2019 年度 活動報告と提言 (資料 2019 理事 03-11)

資料の通り、賛助会員特別会議 2019 年度の活動報告と提言が示された。理事会への提言の中で重要な内容としては、1) 会誌の電子化と 2) 本特別会議の常設化の 2 項目があった。

まず、1) 会誌の電子化については上記、議題 7. の通り電子化を進めていくこととなった。

次に 2) 本特別会議常設化については、常設化後の名称、活動内容、および連合会規則の変更案が示され、本理事会で常設化および規則の変更案が認められた。

本提言については次の社員総会の場合でも紹介することとした。

#### 12. 賛助会員特別会議運営特別委員会の常設化に向けて (資料 2019 理事 03-12)

資料の通り、特別委員会の常設化に向けての問題点を確認し、規則の変更で対応可能であることを

確認した。

13. 岩の力学連合会の資源・素材学会事務局への事務委託内容の見直案および委託業務料金の見直案について（2020.01.31 開催，第3回常任理事会資料より）（資料 2019 理事 03-13）

1/29 に開催された常任理事会でも議論された資源・素材学会への業務委託内容および委託費の増額について理事会の場で検討した。上記，議題 6. の委託費の項目でも検討したとおり，資源・素材学会から示された委託費増額を全額受け入れることとした。ただし，資源・素材学会から示された資料では，本連合会の業務に費やす時間，および作業内容などが詳細に示されていないことから，資源・素材学会事務局が連合会に対して詳細な業務報告をするように依頼することとした。

14. 会議開催の際のお金のやりとりに関する問題点（資料 2019 理事 03-14）

資料の通り，本年度開催した国際会議に関して問題になった事項を説明した。上記，議題 6. で審議した 2020 年度収支予算（案）でも触れたように，本連合会主催の国際・国内会議の予算として特別会計を組む場合には，基本的に実行委員会が予算の管理を徹底することを確認した。

15. 理事会の効率化・経費削減策について（資料 2019 理事 03-15）

本連合会の財政健全化および業務の効率化の観点から，理事会の開催方法について見直しがなされた。これまで，理事会および常任理事会は「理事会，常任理事会および三役会議規則」の中で開催月が明記されていたが，これを廃止し，「理事会および常任理事会は年3回以上の開催とする」という表現に改めることとした。また，これまでは規定がなかった書面会議についても書面による議決が可能なように規則を変更することとした。

本件についても，財政健全化の取り組みの一つとして，次の社員総会で報告することとした。

16. 第15回岩の力学国内シンポジウム準備状況報告（資料 2019 理事 03-16）

資料の通り，「第15回岩の力学国内シンポジウム」の開催準備状況が報告された。また，実行委員長より民間出身の実行委員会のメンバーを，連合会構成学会からそれぞれ推薦して欲しいとの依頼があったため，以下の方々をメンバーとして推薦することとした。なお，土木学会からは既に三鼓氏（関西電力），鈴木氏（大林組）があったため，それ以外の学会の代表者とした。

連合会理事会代表：横尾敦理事（鹿島建設）

地盤工学会代表：奥野哲夫理事（清水建設），青木智幸氏（大成建設），  
藤井幸泰理事（名城大学，サーバ管理）

材料学会代表：笹尾春夫氏（深田研），林為人理事（京都大学，国内シンポ担当理事）

資源・素材学会代表：横山幸也氏（深田研），下田直之理事（石灰石鉱業協会）

以上